



いいもの成らせるさくらんぼ便り

【緊急号】 来年は確実に果実を成らせよう！**結実確保対策を強化！！**

マメコバチがピンチ！増殖不良で来年も少ない可能性大！

- ◆ **マメコバチが激減！** 今年、ハチの飛びが悪かった園地は
来年、**ミツバチを追加して導入！**
- ◆ 結実不良要因を分析し、次期作に向けた対策を実施！



1 今年、「佐藤錦」の結実が良好であった園地の特徴

- ◆ ミツバチやマメコバチの導入密度が高い
- ◆ 人工受粉を徹底して実施している

■「佐藤錦」の着果程度と訪花昆虫の導入状況（R7 アンケート調査）

「佐藤錦」の 結実程度	ミツバチ導入群数 (個/10a)	マメコバチ導入箱数 (個/10a)	人工受粉の回数
2果以上	0.46	1.30	3.1
1.5～2果未満	0.50	1.31	2.5
1～1.5果未満	0.39	0.75	2.3
1果未満	0.38	0.75	1.9

- ◆ 受粉樹の割合が4～5割で、品種数が多い

■「佐藤錦」の着果程度と園地内の品種構成（R7 アンケート調査）

「佐藤錦」の 結実程度	園地内の 「佐藤錦」以外の品種割合	園地内の品種数
2果以上	43.2%	5.0
1.5～2果未満	38.7%	4.6
1～1.5果未満	36.2%	4.1
1果未満	31.1%	4.2

2 今後の対応 ミツバチ・輸入花粉・苗木購入の補助事業も活用して導入！



ミツバチの導入

減少しているマメコバチの補填、訪花昆虫の密度を上げよう

目標 20a に 1 群導入



人工受粉の徹底

輸入花粉なども利用して、人工受粉を徹底しよう

目標 5分咲、満開時は必ず、悪天候時は追加でもう 1 回



品種構成の見直し

短期的には、高接ぎや切り枝の配置で受粉樹の割合を増やそう

目標 受粉樹割合 4割以上